

城端線・氷見線利用実態調査について

城端線・氷見線の利用実態を把握するため、全駅において乗降者数カウント調査を行うとともに、沿線住民へのアンケート調査を実施した。

1 乗降カウント調査

- (1) 調査日 平日：令和元年 10 月 3 日（木） 休日：令和元年 9 月 29 日（日）
 (2) 対象 J R 城端線、氷見線の全列車を対象に、城端線の各駅（高岡駅～城端駅）及び氷見線の各駅（高岡駅～氷見駅）において、運行列車の便別に乗車人数、降車人数をカウント。

路線名	駅数	便数	
		上り	下り
城端線	14 駅	22 便	21 便
氷見線	8 駅	19 便	18 便

2 乗降カウント調査の結果

年間乗車人数の推計値を 365 日で除して 1 日あたりの乗車人数を算出した。

推計の結果、城端線の 1 日あたりの乗車人数は、6,898 人、氷見線では 1 日あたり 4,866 人となる。このうち、高岡駅を除く乗車人数は、城端線で 1 日あたり 4,460 人、氷見線では 1 日あたり 2,890 人である。昨年度調査と比較すると、駅によって増減はあるが、城端線、氷見線とも減となった。

1 日当たり乗車人数の推計値

(人／日)

線 名	駅 名	令和元年	平成 30 年	R元/H30
城端線	高岡駅(城端線)	2,438	2,524	0.97
	新高岡駅	525	493	1.06
	二塚	32	42	0.76
	林	34	29	1.17
	戸出	758	795	0.95
	油田	355	389	0.91
	砺波	987	1,168	0.85
	東野尻	139	132	1.05
	高儀	93	76	1.22
	福野	672	657	1.02
	東石黒	38	35	1.09
	福光	512	502	1.02
	越中山田	74	66	1.12
	城端	241	296	0.81
	城端線合計	6,898	7,204	0.96
氷見線	高岡駅(氷見線)	1,976	1,971	1.00
	越中中川	1,123	1,135	0.99
	能町	153	157	0.97
	伏木	237	226	1.05
	越中国分	318	343	0.93
	雨晴	76	78	0.97
	島尾	208	207	1.00
	氷見	775	816	0.95
	氷見線合計	4,866	4,933	0.99
全 体		11,764	12,137	0.97

3 アンケート調査結果

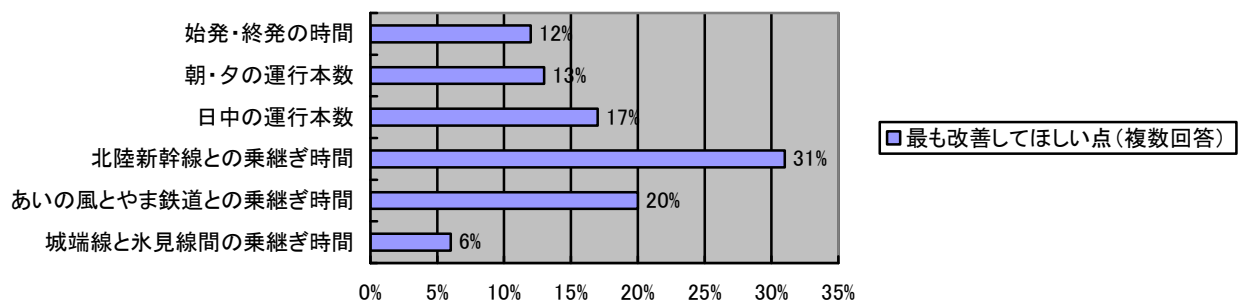
沿線住民に対して、城端線・氷見線の運行及び利用意向等に関するアンケートを実施した。

- (1) 調査期間 令和2年1月24日（金）から調査票を配布し、令和2年2月14日（金）までの回収分
 (2) 対象 沿線住民（駅から半径2km圏内の16歳以上の男女（外国人除く））無作為抽出2,500人

	配布数	回収数			回収率	参考 H30 回収率
		男性	女性	合計		
氷見市	500	99	103	202	40.4%	36.0%
高岡市	1,000	176	241	417	41.7%	40.5%
砺波市	500	90	131	221	44.2%	44.0%
南砺市	500	123	133	256	51.2%	54.8%
計	2,500	488	608	1,096	43.8%	43.2%

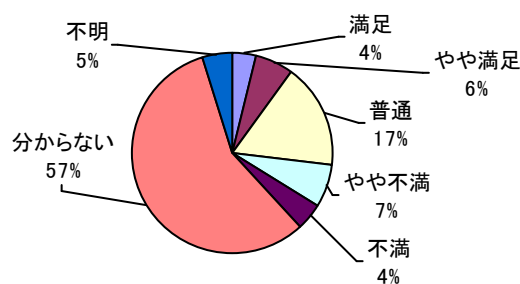
①城端線・氷見線の運行について、最も改善してほしい点（複数回答）

城端線・氷見線の運行について、最も改善してほしい点の回答割合をみると、「北陸新幹線との乗継ぎ時間」（31%）が最も高く、次いで「あいの風とやま鉄道との乗継ぎ時間」（20%）、「日中の運行本数」（17%）、「朝・夕の運行本数」（13%）、の順である。乗継ぎ時間に関する改善の回答割合が高い。



②城端線の運行本数に関する満足度

増便試行運行を実施している城端線の運行本数の満足度については、「わからない」が57%存在し、次いで、「普通」（17%）、「やや不満」（7%）の順に高くなっている。「満足」、「やや満足」と回答した割合の合計は、約10%であった。回答比率は、H30調査と大きな違いはない。



③城端線・氷見線に交通系ICカードが導入された際の利用意志

城端線・氷見線に交通系ICカードが導入された際の利用意志に関しては、「分からない」が29%存在するものの、「切符を購入する必要が無く便利なので利用したい」（28%）、「鉄道以外でも活用できるなら利用してもよい」（22%）と利用に前向きな回答が50%となった。

